

# 犬&猫の飼い方 注意情報

## 冬に気をつけたいこと

**泌尿器系の病気に注意!** 冬に発症しやすい犬猫の病気として、尿結石などの泌尿器系の病気があげられます。特に猫は古代エジプトが原産とも言われ、寒さに強くないため、冬場は運動量が下がり気味。水分補給やオシッコの回数が減ると、オシッコの濃度が高くなり、ミネラル成分が結晶化して結石をつくり、痛みを引き起こす原因の一つとなります。尿結石の一つであるストルバイト結石は、尿の中で「マグネシウム、アンモニウム、リン」が増えると形成されやすい結石です。予防策として、フードの成分表をチェックするなど、普段の食生活の見直しが大切です。また、こまめにトイレを掃除して清潔な環境をつくったり、暖かい場所にトイレを設置するなど、猫がオシッコを我慢しないような環境をつくることも有効です。オシッコをする時に痛がったり、尿の色が赤っぽい、茶色っぽいなどの異常は、泌尿器系の病気かもしれません。すぐに獣医さんに診てもらいましょう。

**暖房器具による火傷に注意!** 寒い冬、暖房器具の前に陣取ってしまうワンちゃん、ネコちゃんも多いのでは? 冬場は暖房器具による火傷にも注意しましょう。犬や猫は体が毛で覆われています。そのため、熱が伝わりにくく、ストーブに近づきすぎていて、気づいたら毛が焦げていたなんてことも。そんなときは、市販の柵(ガード)を設けることで火傷等を防止できます。また、一見安全そうに見えるホットカーペットも、長時間動かす同じ姿勢していると低温火傷を起こしてしまうこともあります。コタツでも低温火傷や酸欠を起こしたり、体に熱がこもり熱中症のような症状が出る場合がありますので、ペットがコタツ等を使う時はこまめに電源を切ってあげると良いでしょう。

ワンちゃんやネコちゃんと楽しい生活を過ごすために、普段の様子や生活環境に気を配り、ストレスのない環境づくりを心掛けましょう!  
(DON)



# 愛ランド通信

~ 人と動物の共生を目指して ~ 平成27年度冬号



**特集**  
**災害時の備え**  
**いざという時、**  
**ペットの命を**  
**守るには!?**

## しつけ、健康管理、避難用品などの備えが大切!

地震、台風、ゲリラ豪雨による水害など、日本では毎年のように自然災害による大きな被害が発生しています。京都でも、2013年に嵐山周辺で桂川が氾濫するという水害があったのは、記憶に新しいところです。自然災害は、いつなんどき発生するかわかりません。いざというとき、家族同様のペットたちと一緒に避難ができるように日頃の準備が大切です。



### はじめに

平成25年6月、環境省はこれまでの大規模災害を基に、「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を作成しました。このガイドラインでは、災害時に飼い主がペットと一緒に避難することをペットの避難対策の基本としています。

そのため、各避難所では、災害が発生したときに備え、ペットの受入れについて事前に検討し、ペットの飼育場所の確保やふん尿の管理等に係るルールを決めておく必要があります。

一方で、様々な人が通常的环境とは大きく異なった生活を送る避難所では、ペットの鳴き声や臭い、放し飼い、他の避難者への危害、ノミの発生など、飼い主が適正な飼育を行っていないことによるトラブルが多く発生し、「適切に処理されていない動物のふん尿の臭いが気になる」、「自

分のペットへの過度な要望を通そうとする」といった飼育マナーなどの問題も各地で報告されています。また、飼い主は、「飼い主の責任」として、平常時からペットの避難に必要な用具や食料を準備しておく必要があります。

こうしたことから、ペットと一緒に避難するためには、普段からのしつけや健康管理、飼い主の心構えが必要となります。万が一に備え、飼い主としてペットのためにできる備えについて今一度考えてみましょう。

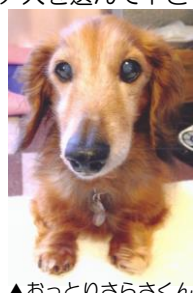


## インタビュー

センターから譲渡されたワンコその後、どうしていますか?

### 家族に迎えて

「子供たちに犬が欲しいと言われ、ペットショップに行こうと思っていたところ、保護された犬がいることを知り、一昨年の9月頃、旧家庭動物相談所(現、京都動物愛護センター(以下、「センター」と言う。))に行きました。さらさを最初に見たとき、目と目があってピピッときました。後日、主人と二人で行って決め、そのことをセンターに伝えると「え、シニア犬を選んで下さったんですか?」とびっくりされましたが、喜んでおられました。実は、私が子供の時に飼っていた犬は認知症になったんです。両親が介護していたのですが、シニア犬の世話が大変なことは聞いていました。また、引き受けて数年で亡くなってしまふ可能性も考えましたが、自分たちが一緒にいたいと思う子と暮らすのが幸せ



▲おっとりさらさくん

## 無駄吠えしないおっとり、まったりシニア犬

村松美恵さんは、京都動物愛護センターから犬を譲り受けました。推定年齢10~12歳の「さらさ」くんです。村松さんにお話を伺いました。



▲佑唱(ゆうた)くん、晴香(はるか)ちゃんとさらさくん


だと考えて決めました。細菌性の皮膚炎があり、歯の状態も悪いと聞いていたので、インターネットや本で事前にシニア犬の飼い方を色々勉強して、かかりつけの獣医も探しておきました。さらさも、うちに来てはや一年。今ではすっかり家族の一員です。おっとり、まったりして無駄吠えもしないとても良い子です。シニア犬ならではの思っています。子供たちともすっかり仲良し。一緒に寝たりしています。悲しいことがあってもさらさをしているだけで癒されます。これから譲り受けようと思われる方にも、是非シニア犬をおすすめします。私が犬を助けたと思っていたが、反対に私が助けられています。本当に良かったです。これからも元気で長生きしてね!」(nasubi)

## 案内

京都動物愛護センターには、新しい飼い主を募集している犬と猫がいます。譲渡に関して確認事項もありますので、まずは愛護センターまでお電話下さい。



**編集後記** 今回の記事をまとめるにあたり、非常に多くの事を考えさせられました。避難時の持ち物を整理する事は当然ながら、普段からの飼い主としての在り方が重要なのだと思いました。自分は大丈夫だと思わずに、周囲の方に受け入れられる飼い主であるかどうか?皆さんも、一度考えていただくきっかけになればと思います。(SW)

本誌の発行経費には「京都市人と動物が共生できるまちづくり基金」の一部が充てられています。まちづくり基金に寄附していただいた方の御名前はホームページにて公開いたします。なお、寄附の方法についても、[京都動物愛護センター](#) 検索  こちらのホームページでご覧いただけます。

## センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
- 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- 京都市営バス十条大宮 停留所から徒歩5分



※無料駐車場はございません  
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地  
電話:075-671-0336 FAX:075-671-0338  
開所時間:午前9時~午後5時  
休所日:木曜日(祝日の場合は翌金曜日)、年末年始

発行:京都動物愛護センター  
平成28年2月10日